

# 東鉄労

## 東鉄労千葉

東日本旅客鉄道労働組合  
千葉地方本部 JR 1056) 2937-2938 NTT 0472 (84) 1423

7/22 東鉄労松崎委員長を招いて

### 「地本講演集会」を開催

新しい労働組合をみんなの力で創造するために

地本は分會・支部・部会を以て中心に千葉市「ニューバナーホテル」において約80名の参加の「地本講演集会」を開催しました。  
講演会には、東鉄労千葉地方本部委員長「千葉地本第一回1年経過した地本をさらに強化・拡大していくために」をテーマに、地本委員の一人として取り上げられました。そのために平日講演会を開催していただきました。今日の成功をステップにさらに頑張って千葉地本と東鉄労を発展させるために頑張っていきましょう」と激励がありました。  
続いて松崎本部長より講演の時間1時間10分間をいただきました。（講演内容の要約についてはパンフレットに掲載します）  
講演では「JR東日本のおかれている状態をしっかりとみること、再び国鉄に置きかえるために努力すること、そのためには労働組合として力をもち、意見を述べた上で具体的な解決していくこと。」など地本方面から多くの意見がありました。そして「決していかなる問題についてもあきらめないでいかなる会社をつくることを通じて自分達の生活を豊かにし、国家の発展のために頑張っていきましょう」との激励の言葉をいただきました。  
ところで「東鉄労連の発展」のためにあがっている「千葉労」はあろうことかこの「地本講演集会」などを通して自分自身をあらわす中で、でもあがりを認めたまま千葉地本でばらばらになり、同じ東鉄労の仲間としての「日本千葉」（7/22）をだしたという事実、とてもこれが社会的にも責任あるJR内の労働組合とは思えません。  
われわれが必ずやるべきことはいかなる問題・地本問題を問わず、JRに属するものすべてを全力で争って地本を強化拡大していくべきであると思います。そしてこの取り組みを通じて、このような存在を築くことができるのです。



たの六十人、誰も松崎の話など信じていない証拠  
職制・助役らの強制参加を得ても集まったのはたったの六十人、誰も松崎の話など信じていない証拠  
① 自民党支持のJR党を結成  
鉄労・民社すら認めない自民党支持のJR党を  
職制・助役らの強制参加を得ても集まったのはたったの六十人、誰も松崎の話など信じていない証拠  
② 「JR会社の成功のため全力を尽くす！」  
と労働者の立場を捨てて会社の犬になりきることを自ら宣言し「会社の為」として、低賃金、強労働を労組の名でおしつけるというのだ。  
③ 「会社倒産運動」一掃の名のもとに一切の権利を否定。  
彼らは分割・民営化に異議をとえない者総てを「倒産運動」と決めつけ、清産事業団五〇〇〇名の仲間の首切りを要求し、加えて不当労働行為抗議や地労委闘争等々を「一掃せよ」とかなきり声をあげている。被解雇者、清産事業団の仲間の怒り、憎くさの元凶こそ労働者・松崎であることとを新ためてはつきりさせようではないか。  
④ 労働千葉、国労解体の先兵になりはてしている。「一企業一組合」は破産している、われわれの回答は鉄道労働者だ、右翼御用組合なんかには負けるものか！これが当り前の労働者感覚である。  
⑤ 増税Ⅱ消費税率導入、整備新幹線建設に賛成している。  
「赤字」の最大原因Ⅱ新幹線建設に賛成とは、「大東亜共栄圏」を推進する右翼ファシスト  
⑦ 「鉄道労働擁護」の反革命暴力に出ている点だ  
革マル・松崎は、鉄道労働への怒りの包囲・危機の高まりの中でついに学生革マルをかり立て不正義の暴力に踏み込んだ。  
だが、こうした不正義の暴力とペテンとデマの運動Ⅱファシスト運動が勝利した例はない。否、決してあつてはならないのだ。  
闘う国労の仲間や全ての労働者人民と連帯し、革マル・鉄道労働者連合体・一掃のためにさらに隊列を打ち固めよう！

# 8% 大官反動集弾効

# 動労千葉

1988.8.8  
No. 2869

国鉄千葉動力車労働組合  
千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五（六）公衆〇四七二（二二）七二〇七

## 産業報国会化の先兵Ⅱ 革マル鉄道労働者を解体しよう。

労働者人民の怒りの鉄槌で解体・一掃しきらなければならぬトンドンデモない「組合」であることについて新ためてハッキリさせなければならぬ。そして、八・八大官集弾効をファシスト御用組合解体・一掃への新たな決定的一歩として断固たたかうものである。

見るも無残、聞くも無残な七・二二一 松崎講演会

松崎の「一企業一組合」「七五〇達成」なる目標は大破産している。

七・二二松崎講演会（千葉）は、完全に吹きとんだ。われわれの弾効におびえ果敢にガードされながらも、なお安心してきき会場を急拠「ホテル」に変更、参加者も六〇名たらずという惨状の中で松崎は完全に消耗し講演も一時間そこそこできりあげ逃げ帰ったのである。又、一五〇〇名の国労復帰をはじめ、全国各地で激しい弾効がぶつけられてきているのが現実である。怒りも新たに弾効に起とう！

### 革マル・鉄道労働者、七つの大罪

労働者人民の反労働者性と罪状をあげたらきりがない。その中で特に決定的ともいえる大罪をあげると次のようになる。

- ① 自民党支持のJR党を結成
- ② 「JR会社の成功のため全力を尽くす！」と労働者の立場を捨てて会社の犬になりきることを自ら宣言し「会社の為」として、低賃金、強労働を労組の名でおしつけるというのだ。
- ③ 「会社倒産運動」一掃の名のもとに一切の権利を否定。
- ④ 労働千葉、国労解体の先兵になりはてしている。「一企業一組合」は破産している、われわれの回答は鉄道労働者だ、右翼御用組合なんかには負けるものか！これが当り前の労働者感覚である。
- ⑤ 増税Ⅱ消費税率導入、整備新幹線建設に賛成している。
- ⑥ 「赤字」の最大原因Ⅱ新幹線建設に賛成とは、「大東亜共栄圏」を推進する右翼ファシスト
- ⑦ 「鉄道労働擁護」の反革命暴力に出ている点だ

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！